

総合振込（全銀形式）

■ヘッダーレコード

項番	項目名	属性	桁数	備考
1	データ区分	N	1	1：ヘッダーレコード
2	種別コード	N	2	21：総合振込
3	コード区分	N	1	0：JIS
4	会社コード (振込依頼人コード)	N	10	口座情報事前設定メニューの「ご利用口座一覧」でご確認ください。
5	振込依頼人名(カナ)	C	40	
6	振込日	N	4	MMDD(月日)
7	銀行コード	N	4	
8	銀行名(カナ)	*C	15	
9	支店コード	N	3	
10	支店名(カナ)	*C	15	
11	科目	N	1	1：普通 2：当座 9：その他
12	口座番号	N	7	
13	ダミー	-C	17	
			120	

■データレコード

項番	項目名	属性	桁数	備考
1	データ区分	N	1	2：データレコード
2	銀行コード	N	4	
3	銀行名(カナ)	* C	15	※Web21システムに保有する金融機関情報データから、銀行コードに対応する銀行名(カナ)をセットします。
4	支店コード	N	3	
5	支店名(カナ)	* C	15	※Web21システムに保有する金融機関情報データから、支店コードに対応する支店名(カナ)をセットします。
6	手形交換所番号	* N	4	
7	科目	N	1	1：普通 2：当座 4：貯蓄 9：その他
8	口座番号	N	7	
9	受取人名(カナ)	C	30	
10	振込金額	- N	10	
11	新規コード	N	1	0：その他(1：第1回振込分 2：変更分)
12	顧客コード1	* N	10	識別コード 参照
13	顧客コード2	* N	10	※識別コードに応じて属性は「C」に変わります。
14	振込指定区分	* N	1	7：電信扱 8：文書扱 ※振込指定区分の内容に関わらず、Web21では「電信扱」で取扱います。
15	識別コード	* C	1	本項目の入力内容により、項番12・13の取扱い方法が決定されます。
	識別コード			顧客コード1・2の取扱い (データを取り込む場合) (注1)
	スペース			「顧客コード1」および「顧客コード2」にセットされた数値情報(注2)を、それぞれ振込データの【受取人番号1】、【受取人番号2】として取り込みます。(振込先には通知されません。)
	X (注4)			「顧客コード2」にセットされたデータ(数値)を【依頼人番号】として取り込み(注3)、振込データの振込依頼人名の前に付加して振込先に通知します。
	Y			「顧客コード1」および「顧客コード2」にセットされたデータ(文字)を【ED1情報】として取り込み(注3)、振込データに付加して振込先に通知します。
	A (注4)			「顧客コード2」にセットされたデータ(文字)を【依頼人明細】として取り込み(注3)、振込データの振込依頼人名の後に付加して振込先に通知します。
	B (注4)			「顧客コード2」にセットされたデータ(文字)を【依頼人明細】として取り込み(注3)、振込データの振込依頼人名の前に付加して振込先に通知します。
	C (注4)			「顧客コード1」および「顧客コード2」にセットされたデータ(文字)を【依頼人明細】として取り込み(注3)、振込データの振込依頼人名の後に付加して振込先に通知します。
	D (注4)			「顧客コード1」および「顧客コード2」にセットされたデータ(文字)を【依頼人明細】として取り込み(注3)、振込データの振込依頼人名の前に付加して振込先に通知します。
16	ダミー	- C	7	
			120	

- (注1) 表中【 】で表示した項目は、Web21の画面上の「受取人情報の付属入力項目」に対応しています。
Web21の画面上で作成した振込データをダウンロードする場合、【 】で表示したエリアに入力した内容が、取り込みの場合とは逆に「顧客コード1・2」にセットされ、入力内容に応じて該当する識別コードがセットされます。
- (注2) 「顧客コード2」については文字情報をセットすることも可能です。
- (注3) 取り込んだ内容は、受取人マスタでは受取人情報登録画面、振込データでは振込情報の詳細設定画面から確認できます。
- (注4) これらの識別コードをご利用いただくためには振込人はっきりサービスの申込が必要です。

■トレーラレコード

項番	項目名	属性	桁数	備考
1	データ区分	N	1	8 : トレーラレコード
2	合計件数	N	6	
3	合計金額	N	12	
4	ダミー	-	C	101
			120	

■エンドレコード

項番	項目名	属性	桁数	備考
1	データ区分	N	1	9 : エンドレコード
2	ダミー	-	C	119
			120	